

みんなの なりた

発行／成田市議会 編集／成田市議会広報広聴委員会



サンブルーノ市中学生友好訪問団が来成

成田市との姉妹都市であるアメリカ・サンブルーノ市より、訪問団14名が7月4日(木)から9日(火)までの6日間、成田市を訪れ、ホームステイを通じて交流が行われました。滞在中は、成田祇園祭にて山車引きの体験や吾妻中学校にて授業の体験等が行われました。

スマホで動画！

表紙の取材で撮影した写真の動画をご覧ください。

※詳しくは裏表紙(16ページ)へ

令和6年 6月定例会

主な内容

6月定例会ハイライト	2	一般質問	7
常任委員会審査レポート	3	政務活動費収支報告	13
特別委員会審査レポート	5	教えてうなりくん!!	14
議案と審議結果一覧	6	議会報告会を開催します	16





6月

▶ 定例会ハイライト

29議案を可決・同意・承認

令和6年度一般会計補正予算、市有財産の取得(空気調和設備)など

令和6年6月定例会は、6月7日に招集され、26日までの20日間の会期で開催しました。定例会の初日には24議案が上程されました。

一般質問は、6月11日から4日間、18人の議員が登壇して行い、14日には人事案件1件を先議し、同意しました。17日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案23件、追加議案1件および発議案4件を原案どおり可決・承認し、また、請願3件のうち2件を採択、1件を不採択とし、閉会しました。

【6月定例会の日程】

月 日	内 容
6月 7日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程、議案審議)
11日(火)	本会議(一般質問)
12日(水)	本会議(一般質問)
13日(木)	本会議(一般質問)
14日(金)	本会議(一般質問、議案審議、議案質疑、委員会付託)
17日(月)	建設水道常任委員会
18日(火)	教育民生常任委員会
19日(水)	空港対策特別委員会、経済環境常任委員会
20日(木)	総務常任委員会
26日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

ニュータウン再生の核となるにぎわいの拠点施設を目指し

赤坂センター地区への多機能な複合施設の整備に向けて、基本調査を実施し、施設の目指すべき将来ビジョンを策定しました。(詳しくは、3ページへ)



複合施設の整備が予定されている赤坂センター地区

中台運動公園^(注1)の体育館は9月から休館、25メートルプールは閉鎖

中台運動公園の体育館が給排水設備の改修工事により全面休館するとともに、25メートル水泳プールは工事により今年度は閉鎖されます。(詳しくは、4ページへ)



中台運動公園25メートル水泳プール

(注1)中台運動公園…令和4年10月1日からネーミングライツにより、愛称が「じゅうべえ重兵衛スポーツフィールド中台」となっています。

国に意見書を提出

委員会から提出された議案(発議案)を可決し、国に次の意見書を提出しました。

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- ・国における2025年度教育予算拡充に関する意見書

意見書とは

地方公共団体の公益に関することについて、国政に反映させるため、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。

決議を可決

議員から提出された議案(発議案)を可決しました。

- ・イスラエル・パレスチナにおける早期の平和実現を求める決議

決議とは

議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的效果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。



意見書・決議
QRコード



総務常任委員会

持続可能な地域公共交通の再構築に向け調査を実施

議案11件をいずれも可決・承認しました。所管事務について4件の報告を受けました。

▼ 議案

令和6年度一般会計補正予算

持続可能な地域公共交通の再構築に向け人流等ビックデータの分析等に要する経費として2,754万円、定額減税をしきれないと見込まれる納税義務者に調整給付金を支給するための経費として1億8,743万円の増額となるなど、補正後の総額は671億6,451万9,000円となります。

主な質疑

Q 公共交通計画推進事業について、携帯電話の位置情報等の人流等ビックデータの分析を行う目的は。

A 今後の公共交通を検討する上で基礎となる、人の移動実態と

(注2) サウンディング調査…事業化検討段階において、事業内容等に関して、民間事業者との対話によりさまざまな意見や新たな提案等を把握する調査。

ニーズを把握するには、運行実績データを集めるだけでは不十分であり、公共交通を利用していない人も含めた、人の流れの全体を見える化することで、新たな公共交通体系を検討したい。

▼ 所管事務調査

(仮称)赤坂センター地区複合施設整備基本調査の報告

成田ニュータウンは、増加が見込まれる空港関連企業の従業員の受け皿としての役割や老朽化した団地の再生等も含めた住環境の再整備等が求められています。令和5年度には、市民ニーズ調査や民間事業者へのヒアリングを行い、中央公民館や図書館本館の再整備の検証や考察、複合施設に導入する機能等を検討したとのことでした。調査結果を踏まえ、将来ビジョンを「成田ニュータウンの再生の核となるにぎわいの拠点施設」とし、期待する役割として、子育て支援の充実、公共・公

益サービスの充実、世代間交流の推進等を挙げており、子育て関連施設と図書館や文化学習施設等の連携強化による利便性の向上や民間のアイデアの活用によるにぎわいの創出を期待しているとのことでした。複合施設の配置や導入する機能等は、令和6年度に予定しているワークショップやサウンディング調査^(注2)などを踏まえ、今後策定予定の基本構想や基本計画の中でより具体的に検討していくとのことでした。



市民ニーズを調査するために行われたワークショップ

教育民生常任委員会

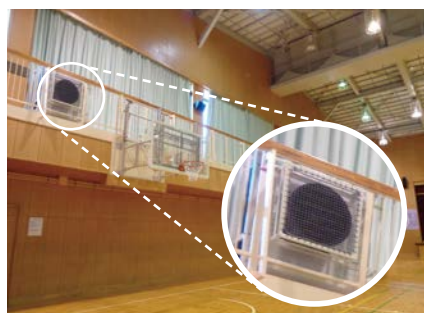
中学校の体育館に空気調和設備を設置

議案9件をいずれも可決・承認しました。請願2件を採択し、陳情1件を不採択としました。所管事務について4件の報告を受けました。

▼ 議案

市有財産の取得(空気調和設備)

児童生徒の熱中症対策として、成田中学校ほか7校の屋内運動場などにリース方式にて、空気調和設備を整備



下総みどり学園の空気調和設備

(注3) ZEB Ready…ZEB(年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、またはマイナスの建築物)を見据えた先進建築物として、高断熱化と高効率な省エネルギー設備を備えた建築物。

します。

主な質疑

Q 市内全校への一斉導入について、検討は行ったのか。

A 今回設置する台数よりも多く設置する場合、設置箇所数が多いため対応が困難である。まずは、早期開設避難所となる学校に設置し、その後、部活動等で使用頻度が高い中学校への整備を進めているところである。

▼ 所管事務調査

成田小学校改築工事基本設計

建築後60年余りが経過し、老朽化が進む成田小学校の改築に向け、建物の構造や配置、各階のレイアウト等の基本設計をまとめたとのことでした。校舎は、屋内運動場や地域開放スペース、児童ホームがある2階建ての北棟と教室や職員室等がある4階建ての南棟で構成しており、エレベーター

の設置や多目的トイレを各階に配置するなど、バリアフリーに配慮した計画としています。また、脱炭素化の観点から、勾配屋根部分に太陽光パネルを設置し、ZEB Ready^(注3)の認証取得を予定しているとのことでした。なお、令和7年度にプールの解体と建設工事に着手し、令和10年度に新校舎の供用を開始します。その後、旧校舎の解体やグラウンドを整備し、事業完了は令和11年度を目指しているとのことでした。

▼ 要望書を提出

中学校や義務教育学校における、令和7年9月以降の休日の部活動の地域への完全移行に当たり、家庭の経済状況にかかわらずスポーツや文化芸術活動の機会に差が生じることのないよう方策を検討することなどの要望事項を取りまとめ、市に提出しました。



経済環境常任委員会

成田エアポート東雲^{しのめ}パークゴルフ場の供用開始に向けて

議案2件をいずれも可決し、請願1件を不採択としました。所管事務について3件の報告を受けました。

▼ 議案

成田エアポート東雲パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の制定

令和7年3月に完成を予定しているパークゴルフ場と令和6年4月1日からすでに供用を開始しているパークゴルフ



整備中の成田エアポート東雲パークゴルフ場

(注4) 指定管理者制度…地方自治体が設置する公の施設の管理について、民間事業者等を含めた幅広い団体に委ねることを可能とする制度。

場に併設する複合施設を一体的に管理を行うため、市民の健康増進、スポーツ活動の促進、地域社会の福祉の増進につながる公の施設として適正な管理を行うとともに、指定管理者制度^(注4)を導入するため、新たに条例を制定します。

主な質疑

Q 成田エアポート東雲パークゴルフ場という名称は、どのようなプロセスで決まったのか。

A 十余三区、堀之内区、長田区との地域協議の場において、市が名称案を提示し、地域の意見を伺い決定した。

▼ 所管事務調査

中台運動公園における体育館の休館及び25メートル水泳プールの閉鎖

体育館では、給排水管やシャワールーム、トイレブース、受水槽などの改修工事に伴い、令和6年9月1日か

ら令和7年7月31日まで体育館全体を休館して工事を行う予定とのことでした。また、25メートル水泳プールでは、改修工事を進めており、プール底面の塗膜を除去したところ、想定以上に下地の劣化が目立ったことから、確実な施工を行うための調査を行った結果、モルタル補修など新たな作業等が追加となったため、令和6年度のプールの開場日までに工事を完了できなくなったとのことでした。プール開場期間中に並行して工事を行うことを検討したものの、塗装時に臭いが発生することから、令和6年度のプール開場期間中は、25メートル水泳プールを閉鎖するとのことでした。なお、幼児用プールと50メートル水泳プールは使用可能であり、50メートル水泳プールを半分に区切り柵を設けた上で可動床の一部を低学年児童も利用可能な水深に調整するとのことでした。

建設水道常任委員会

整備が進む市道西三里塚^{おおしみず}大清水線

議案2件をいずれも可決し、所管事務について2件の報告を受けました。

▼ 議案

橋梁下部工事(西三里塚大清水線)1区区請負契約の変更

現在工事を進めている市道西三里塚大清水線のうち、畑ヶ田^{はたけだ}地先に新設する橋梁^{きょうきやう}の橋脚を2基設置する工事において、作業ヤードの地盤を調査した結



西三里塚大清水線の橋脚工事

果、橋脚基礎工事のために必要な地盤強度が得られなかったため、地盤改良工と土留工を実施する必要が生じたこと等により、変更契約を締結します。

主な質疑

Q 杭打ち機械の設置場所の地盤強度が足りないとのことだが、事前に地盤調査を実施しなかったのか。

A 橋脚の基礎を設置する上で、土質調査などの地盤調査は実施している。しかし、設置場所である田んぼの盛土造成後に地盤面を調査した結果、杭打ち機械の設置に必要な地盤支持力が得られなかったため、地盤改良工事を行うものである。

Q 完成時期について、遅れはないのか。

A 整備計画では、令和9年度の完成を目標としていたが、橋梁工事が2橋残っており、今回の橋梁工事

は3カ年の継続費を設定していることから、残りの2橋で6年近くかかる計算となる。今後は、完了区間の部分的な供用の開始など、整備効果を早期に発現できるよう、検討していきたい。

▼ 所管事務調査

住宅耐震改修等補助制度の拡充

令和6年能登半島地震では、旧耐震基準により建てられた建物が甚大な被害を受けたことが報告されたことから、千葉県より耐震改修に係る補助制度の拡充を検討するよう通知があったとのことでした。これに伴い、耐震化の促進のため、耐震改修等に係る補助率と補助上限額の引き上げ、旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事を段階に分けて行う二段階耐震改修の補助対象化、耐震診断補助や耐震改修補助において事業者等の補助金代理受領制度を導入するとのことでした。



空港対策特別委員会

エンジントラブルにより 貨物機が緊急着陸

▼ 報告

6月4日に発生した重大インシデント (注5)
[国土交通省からの報告]

6月4日午前10時16分に成田空港を離陸したポーラーエアカーゴ752便のエンジンに不具合が発生し、緊急事態を宣言の上、着陸した事案について、到着後の点検でエンジン内部の部品の破損やエンジンのケースに穴が確認されたとのことでした。本件は、重大インシデントに該当することから、運輸安全委員会による原因等の調査が行われており、当面の間、空港会社と実施している機体チェックの実施回数を増やし、エンジン回りの確認を重点的に行うとのことでした。

[成田市からの報告]

住民の生命、安全を脅かす重大な航

(注5) 重大インシデント…航空事故には至らないものの、事故が発生するおそれがあったと認められるもの。

空事故につながりかねない事態であることから、市長が会長を務める成田空港圏自治体連絡協議会より、国土交通省航空局、成田空港事務所、成田国際空港株式会社、成田国際空港航空会社運営協議会に対し、原因究明、再発防止、安全運航の徹底について、強く申し入れを行ったとのことでした。

『新しい成田空港』構想検討会

令和6年6月までに検討会を9回開催し、中間取りまとめで示した、ターミナルの集約化、貨物の物流の集約化、最適なアクセスの実現、地域づくり・まちづくりの4つの方向性について議論を進めたとのことでした。新ターミナルの東側半分の完成を2030年代前半、出発ロビー機能や各種検査機能などの機能の集約を2030年代後半とし、新貨物地区は2030年代初頭の供用を目指しているとのことでした。

主な質疑

Q 地域振興策について、今後どのように進めていくのか。

A まちづくりの進め方は、行政の考えや、住民の考えが重要であると認識している。空港会社が一方的に推し進めるのではなく、協力しながら取り組むものであるため、住民の声を聴きながら、今後の構想に取り入れていきたい。



新旅客ターミナルと新貨物地区の配置イメージ (成田国際空港株式会社提供)

請願書・陳情書がオンラインで提出できるようになりました

令和6年7月1日より窓口への持参に加え、オンラインで提出ができるようになりました。なお、定例会開会の1週間前の午後5時までに提出されたものは、その定例会で審議しますが、その後に提出されたものについては、次回の定例会で審議します。

提出方法等の詳細については、ホームページをご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。



請願・陳情
QRコード



議会DX推進検討会より 検討状況の中間報告を行いました

成田市議会では、議会基本条例の趣旨でもある公平性と透明性の確保、市民参加、議会機能の向上を図るため、段階的に議会DXを進めています。令和5年6月に議会DX推進検討会を設置し、取り組みの第1段階として、全議員がタブレット端末を所持し、デジタル化に対応可能な体制を整えられるよう検討を進めており、その検討状況について議長へ中間報告を行いました。



議会DX
QRコード

議案と審議結果

※○=賛成、×=反対 ※議長(神崎 勝)は採決に加わりません。

※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑、
 暁=暁真世。

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ										豪政会		公明党		リベラル		共産党	虹	暁											
			中島達也	小泉英樹	中島圭介	別府弘隆	飯嶋重一	小高夕佳	葛生孝浩	眞野義行	藤崎勇一	鳥海直樹	神崎勝	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	鬼澤雅弘	飯島照明	神崎利一	上田信博	細貝正安	一山貴志	水上幸彦	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	荒川さくら	鶴澤治	会津素子	星野慎太郎
▼ 議 案																																
1	監査委員の選任(岩館 和彦)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	成田市税賦課徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市都市計画税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	成田エアポート東雲パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
8	専決処分の承認(成田市税賦課徴収条例の一部改正＝専決第2号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	専決処分の承認(成田市都市計画税条例の一部改正＝専決第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	専決処分の承認(成田市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部改正＝専決第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	専決処分の承認(成田市あじさい工房の設置及び管理に関する条例の一部改正＝専決第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	専決処分の承認(成田市国民健康保険税条例の一部改正＝専決第6号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	成田市リサイクルプラザ長寿命化工事(基幹的設備改良)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	橋梁下部工事(西三里塚大清水線)1工区請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	市有財産の取得(庁舎構内電話設備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	市有財産の取得(防災行政無線(デジタル同報系)施設屋外拡声子局)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	市有財産の取得(保健福祉館内電話設備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	市有財産の取得(空気調和設備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	市有財産の取得(厨房機器)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	市有財産の取得(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(I-B型))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	市有財産の取得(消防ポンプ自動車(CD-I型))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	専決処分の承認(令和6年度成田市一般会計補正予算(第1号)＝専決第9号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	令和6年度成田市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	令和6年度成田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	令和6年度成田市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
▼ 発議案																																
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における2025年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	イスラエル・パレスチナにおける早期の平和実現を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
▼ 請願																																
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	「国における2025年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出についての請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	

委員会で審査された陳情

▶女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を国に求める意見書についての陳情書 不採択(教育民生常任委員会)



きよざき たかひろ 議員



使用停止中の学校遊具について計画的な修繕を

問 学校に設置されている遊具は、子供たちにとって楽しさだけではなく、運動能力や協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力を身に付けることができる貴重なツールである。しかし、使用を停止している遊具が令和3年度は26施設、令和4年度は33施設、令和5年度は41施設あり、増加傾向にある。毎年、2施設程度を修

繕、更新しているとのことだが、10施設程度が壊れており、今後、全ての施設が使用停止になると思われるも仕方がない。修繕、更新が進まない原因について伺う。



答 学校施設には、校舎や付属する施設、備品など整備を必要とする施設が含まれ、限られた予算の中で優先度の高いものから順次取り組んでおり、遊具の修繕、更新に至っていないのが現状である。全てを同時期に修繕、更新することは困難であることから、学校との協議により、場合によっては撤去のみを行い、必要最小限の遊具を整備するなど検討していきたい。

その他の質問 ▶私有地への不法投棄問題について ▶高齢者に優しいまちづくり、市営住宅への入居の現状は

災害時でも学校給食提供が可能となる体制を

問 全国では、地震や台風などの災害により、学校給食調理場の機能が停止し、学校給食の実施が困難となる事態が発生している。2019年の大型台風では、停電により本市の学校給食が停止となった。学校給食により、成長期の子供が栄養バランスの取れた給食を摂取することで、心身の健康維持と増進を図ることができる。また、クラスメートと楽しく食事することで、心の安定にもつながることから、災害時においても学校給食の早期再開は大切であるとする。具体的な災害体制

としては、非常食の備蓄や災害時のガイドライン、またはマニュアルの策定などが挙げられる。学校給食センター本所の工事はすでに始まっており、大きな計画変更は不可能であるが、備蓄やマニュアルの策定など、災害時でも給食提供が可能となる体制を整えることは今からでも可能であると考えているが、見解を伺う。

答 他の自治体では、災害などにより学校給食センターが稼働できない事態を想定し、封を切って常温でそのまま食べることのできる食料を学校に

あいづ もとこ 議員



備蓄している事例や近隣市町村や民間企業と食材の提供などについて相互連携を図るマニュアルを整備している事例もあり、これらを参考に調査研究していく。

その他の質問 ▶ネオニコチノイド系農薬の空中散布はいつ見直すのか ▶職員の休職および20代30代の退職状況は



あぶらひ きよし 議員



持続可能な地域公共交通政策に向けた取り組みは

問 千葉県交通計画課によると、県内の路線バスが令和5年10月から令和6年4月にかけて約6%減便し、減便した理由の8割が運転士不足だと言われている。千葉県は、市町村や事業者と意見交換を行い、どのようなことができるのか検討したいとしているが、市としての対応は。また、地球温暖化や超高齢社会など時代の変化に合

わせ、バス停に屋根やベンチの設置を求めるが市の見解は。

答 持続可能な地域公共交通の構築に向けた取り組みを一層進めるため、令和6年度より都市計画課内に交通政策室を設置し、地域の課題やニーズを踏まえ交通事業者等の関係機関との協議を進めていくこととしている。さらに自動運転等の新技術やライドシェア^(注6)等の新しい移動手段、ICTを活用した新たなサービス導入の可能性も視野に入れ、地域ごとの特性に応じた公共交通の在り方やサービスの提

供方法等について検討していく。また、成田市地域公共交通計画では、利用しやすい公共交通の環境整備を基本目標の1つとし、バス待ち環境の改善に取り組むこととしている。令和3年度には、新たな交通結節点となる新生成田市場の開場に合わせて、ベンチ、屋根、風よけ、案内サインを備えたバス停を設置した。

その他の質問 ▶児童ホームでの弁当提供による実証実験の結果と今後の取り組みは ▶中学校の休日部活動の地域移行の進捗状況と課題は

(注6)ライドシェア…タクシーの営業許可がない一般のドライバーが有償で顧客を送迎するソーシャルサービス。

電子自治体推進に向けた取り組みは



みずかみゆきひろ 議員
水上幸彦 議員



問 国において地方自治体のITシステムを共通化する方針を固め、各自治体に共通する業務システムを統一し、行政事務を効率化する「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に盛り込むと報道があった。情報システムの標準化、共通化や行政手続きのオンライン化の考え方と取り組みについて伺う。また、地上デ

ジタル放送波の活用による情報伝達方式を研究しているとのことだが、情報伝達システムの考え方と取り組みは。

答 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が施行され、国が定めた移行期限である令和7年度末までに標準化システムへの移行が完了するよう、令和6年10月からシステムの切り替えに取り組んでいくほか、電子申請手続きの推進を図るため、住民票や税務証明書の交付手続きにマイナンバーカードを利用した公的個人認証による本人確認機能やオンライン決済

機能を追加し、スマートフォン等で手続きが完了するサービスを導入している。また、情報伝達については、複数の広報媒体を組み合わせることで情報を発信することが効果的と考えており、千葉テレビの市町村情報データ放送を含め各種広報媒体の特性を生かし、情報がより伝わるよう効果的な情報発信の推進に取り組んでいく。

その他の質問 ▶騒音地域の振興に関するアンケート調査について ▶土地の相続登記の申請の義務化について ▶地方公会計の活用について

なかよしひろばの安全管理の取り組みは

問 なかよしひろばにある遊具や備品は、使用頻度が高く、破損等が見受けられる。特に大型の遊具は、不具合によりけがをすると、大きな事故に



子ども館なかよしひろば

つながる危険性もあり、より安全面への配慮が必要と思われる。遊具や備品の更新および保守の考え方を伺う。また、管理者として、なかよしひろば全体の安全管理の取り組みは。

答 なかよしひろばの室内にある滑り台やボールプールといった遊具等は、開館時間前後や日々の消毒作業の中で安全確認を行っており、修繕や更新が必要となる場合には、随時適切に対応している。また、遊具やおもちゃなどを含むなかよしひろばの安全管理を行うため、子供の年齢等に応じた活

なかしまけいすけ 議員
中島圭介 議員



動場所に配慮しながら、職員が目が行き届くよう常時3、4名の職員を配置しているほか、ヒヤリハット事例に対する対応など、安全管理等に関する研修についても定期的に実施し、職員間での情報共有を図っている。

その他の質問 ▶土木工事の書類削減について ▶なかよしひろばに使用済み紙おむつの回収ボックスの設置を

COCOLOプランに基づく取り組み内容は



なかしまたつや 議員
中島達也 議員



問 国は、令和5年に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」を取りまとめた。不登校で悩んでいる保護者、多感で成長著しい児童生徒のため、早急かつ効果的な対策や支援を求めるが、COCOLOプランに基づく取り組みの内容は。また、フリースクール^(注7)等との連携の実績について伺う。

答 COCOLOプランに基づいた施策として、校内教育支援教室を小学校1校、中学校6校、義務教育学校2校で開設しているが、不登校支援推進校として千葉県からの増置教員が配置されているのは2校であり、他の学校は教員同士が授業時間の割り振りを工夫して対応している状況である。現状では人員の確保が困難であり、校内教育支援教室を展開できない学校でも、保健室を居場所として養護教諭が対応したり、別室で管理職が対応するなど、できる限り児童生徒の居場所づくりに

取り組み、不登校の未然防止や教室復帰に大切な役割を果たしている。また、学校では、フリースクールとの連携を密にしており、出席や活動情報の提供を受けているほか、担当職員が相互を訪問し、面談を行っている。今後、教育支援センターと市内フリースクールの代表者によるネットワーク会議の実施を検討している。

その他の質問 ▶民間のフリースクールへの支援の考えは ▶近隣公園の改修等に子どもたちの意見が反映された事例は

(注7)フリースクール…不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などを行っている民間の施設。

まんせいへいそくせいはいしっかん

慢性閉塞性肺疾患(COPD)重症化予防の推進を



いちやまたかし 議員



問 COPDは、たばこ等に含まれる有害物質により、気管支や肺がダメージを受け、呼吸がしにくくなる病気である。長時間にわたる喫煙や受動喫煙が主な原因とみられ、ゆっくりと進行していくことから肺の生活習慣病とも言われている。COPDを罹患した65歳以上の高齢者は、フレイル^(注8)の合併頻度が高いため、健康寿命を延ば

す上で対策が不可欠であるが、認知度が低く、初期症状が分かりづらいため、治療者が少ない状況にある。次期健康増進計画の策定に当たり、COPDによる死亡率の減少や認知度の向上のため、どのような目標を設定し、COPDの重症化予防に取り組むのか伺う。

答 本市の健康増進計画におけるCOPDに対する取り組みとして、広報なりたや市のホームページなどにより、認知度向上に向けた取り組みを行っている。次期計画の策定に当たっては、国や県の計画内容に加え、アン

ケート等により市民の皆様の意見を伺い、計画を策定していく。COPDによる死亡率を減少させるためには、予防や早期発見、治療が重要であり、まずはCOPDを理解していただくことが必要であると考えているため、引き続き認知度向上に努めてまいりたい。

その他の質問 ▶もりんぴあこうづの駐車場について ▶大規模災害に備える簡易トイレ等の備蓄の推進について ▶フューチャー・デザインとバックキャストの積極的な活用について

市民協働型のシステムやアプリの導入を

問 本市では、DX推進のために行政手続デジタル化ツールLoGoフォームを導入し成果を上げているところだが、令和5年から道路損傷や公園・緑地損傷等の通報システムもLoGoフォームに加わった。これにより、市民の利便性が向上したと思うが、電子申請用に作られた基盤とは別に市民参画型の基盤づくりも必要と考える。千葉市では、平成26年より市民がまちの課題をレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で課題を共有し、解決する仕組みである「ち

ばレポ」をスタートし、アプリを用いてまちの課題把握のほか、市民の投稿を取りまとめ生き物ミニ図鑑を作成している。このような市民参画型の基盤づくりも必要と考えるが、新しいシステムやアプリ等の導入について、市の見解を伺う。

答 DXを推進していく中でのシステムやアプリの導入は、まずはデジタル化に対応した事務の改善に取り組み、その上で既存システム等で対応できない場合には、市民の利便性の向上や業務の効率化を前提に、費用対効果

まのよしゆき 議員



も踏まえて、実際に業務でシステム等を利用する担当課を中心に検討し、必要に応じて導入する。

その他の質問 ▶道路損傷等および公園・緑地損傷等の通報システム運用状況について ▶市のウェブサイトに対する基本的な考え方について ▶ウェブアクセシビリティの取り組み状況について

小中義務教育学校のいじめ防止・発見の取り組みは



べっぴひろふみ 議員



問 文部科学省から、令和4年度の全国の小・中・高・特別支援学校でのいじめ認知件数が過去最多になったと発表があった。いじめ問題は、未然防止に向けた日頃の教育活動と早期発見が重要である。本市の小中義務教育学校での取り組みを伺う。

答 各学校では、毎年「いじめ防止基本方針」を見直し、全教職員の理

解と協力を得て、いじめ防止に取り組んでいる。いじめをなくしていくには、日頃からの未然防止が重要であるため、道徳科では、他者への思いやりや自分を大切にすることを育む授業を充実させるとともに、成田赤十字病院から医師を招いて、命の大切さを学ぶ「いのちの授業」を実施している。また、児童生徒がいつでも相談できるよう、相談箱の設置や相談窓口を周知するほか、学校の中でも教室とは別に安心できる居場所を作るなど、児童生徒の心のSOSに早く気付くことができるよ

う「SOSの出し方教育」にも取り組んでいる。さらに、各学級では、毎日の健康観察、日記帳、保護者との連絡帳を活用した心身の観察、定期的なアンケート調査や個別の教育相談のほか、心や体調の変化を1人1台端末の活用により把握している学校もあり、いじめの早期発見に努めている。

その他の質問 ▶いじめ問題の発生時や解決後の指導について ▶教職員の労働環境改善への取り組みについて ▶教職員の教材費・部活動費等の自己負担の現状について

市の会計年度任用職員に安定した生活を



あらかわ さくら 議員



問 市の非正規雇用である会計年度任用職員は、毎年雇い止めの不安を抱えながら仕事をしている。総務省は、フルタイム勤務とすべき業務量があるにもかかわらず、パートタイム勤務とするために、勤務時間をフルタイムよりわずかに短くすることは適切ではなく、このような職員が時間外勤務をした場合は、フルタイムでの任用を含め、

(注9)PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。

見直しの検討を行う必要があるとしている。本市には、フルタイムと15分しか変わらない職員が113人いるとのことだが、その中で一番多い職員は、1日平均何分の時間外勤務を行っているのか。また、公募なしでの再度の任用を3回以上認めている自治体が全国で34%あるが、本市は2回までである。このような状況でも、本市は今後も公募を続けるのか。

答 昨年度、最も多く時間外勤務を行っていた会計年度任用職員は、1日平均50分弱勤務していた。また、

採用に当たっては、任期を1年以内としており、毎年広く公募し選考試験により採用することが必要であるが、制度上は、国の取り扱いに準じ、再度の任用を連続2回まで可能とされている。地方公務員法に定める平等取り扱いの原則や成績主義の観点に基づき、適切に行っていくべきと考えている。

その他の質問 ▶市職員のストレスチェックの結果について ▶学費の値上げが続く中、市として奨学金の返済支援を ▶公民館の運営へのPFI^(注9)導入はやめて、社会教育の充実を

登下校中における交通事故防止の取り組みは

問 政府は、交通安全に関する会議を開き、緊急点検で判明した全国の小学校の危険な通学路のうち、多くの通学路で安全対策を完了したと公表した。しかし、対処された道路などの資



料を確認したが、不十分と感じる通学路が多数である。日本における歩行者の死亡事故の割合は、欧米と比較して相当高く、先進7カ国の中でも突出している。要因の1つとして、日本では、歩行者の往来が中心だった道を車が走るようになり、歩車分離^{ほしやぶんり}通行が広がらなかったためとも言われている。登下校の通学路の安全対策について、市の取り組みを伺う。

答 市では、成田市通学路交通安全プログラムを策定し、毎年危険箇所の調査や関係機関が現地で危険箇所の

むらしましやうとう 村嶋照等 議員



確認を行う通学路合同点検を実施し、各学校の交通安全指導に役立てているところである。以前から継続して要望が上がっている箇所については、関係機関と情報を共有しており、42%が整備済みである。今後も危険箇所の改善に努めていく。

その他の質問 ▶桜の害虫対策について

遊休農地対策における農業センターの事業見直しは



ふじざきゆういち 藤崎勇一 議員



問 令和5年2月に農業委員会から提出のあった成田市農地等利用最適化推進施策に関する意見書には、遊休農地対策として、担い手のいない農地等を管理し耕作する新たな農業法人を設立するなどの意見、要望が出ている。市としても、成田市農業センターの事業見直し等により積極的な対応を行っているが、取り組み状況を伺う。

答 農業センターでは、令和3年8月に市やJA成田市、外部有識者等により構成された成田市農業センターにおける事業および業務運営の在り方等に関する検討会を設置し、今後の事業と公益事業の在り方、遊休農地発生防止対策等を議題として、事業の見直しの検討を開始している。今後の事業や遊休農地発生防止対策の検討に当たり実施したアンケート結果をもとに、農地所有者が耕起等を委託できる農作業受委託の取り組みや農業用機械のリース事業、農地の草刈り等を行う農地管

理事業など、大規模農家だけではなく、高齢化が進む中小規模の農家が安心して営農を継続できる支援体制づくりの検討をしている。市としても、農業者にとってよりよい支援が行えるよう、農業センターをはじめ関係機関と連携を図りながら、引き続き取り組んでいきたい。

その他の質問 ▶農業機械導入整備にかかる補助対象要件の緩和と農道整備の予算確保について ▶高齢者等の買い物弱者対策について ▶不法ヤード対策について

学校跡地にベンチャー企業を呼び込むべきでは



いじましげお 議員



問 大栄地区は、成田空港の近くにあり、将来を見込める立地である。閉校した学校の利活用策として、ベンチャー企業などを積極的に呼び込むべきと考えるが、市の見解は。

答 学校跡地の利活用は、これまでも学校跡地利用基本方針に基づき、全市的な行政需要、地域ニーズ、民間事業者の活用などを総合的に考慮しな

がら検討を進めている。大栄地区の旧小学校4校は、庁内で組織している学校跡地利用検討委員会において、民間事業者による利活用を図る方針とし、地域説明会などを通じて各校区の理解をいただいたことから、令和5年度に事業者を募集した。応募者からは、創業支援などの企業支援事業を含む提案などもあったが、各校区の方にも審査委員として参加していただいた上で選考した結果、旧桜田小学校は障がい福祉サービス事業を、旧川上小学校は日本語学校を提案した事業者を優先

交渉権者として選定し、基本協定を締結したところである。なお、旧大須賀小学校と旧前林小学校は、優先交渉権者の選定に至らなかったことから、現在のところ再公募に向けて課題を整理しており、創業支援や企業の誘致につながる提案を含め、より幅広いアイデアの提案を受け入れられるよう、貸し付け条件の見直しを含めた再公募の内容の検討を進めていく。

その他の質問 ▶中学生姉妹都市友好訪問団派遣事業について ▶環境問題について

観光戦略における地域資源の活用のために

問 地域資源を観光コンテンツとして有効化する上で重要なことは、地域資源の把握であるが、本市の地域資源の把握方法は。また、地域資源を観光コンテンツとして価値化していくには、ニーズの把握が必要と考えるが、観光需要把握のためのデータ分析の状況は。

答 本市において成田空港や成田山新勝寺は、重要な地域資源と認識しているが、それ以外の地域行事や観光施設、農産品など、成田ブランドとして発信できる素材を把握するため、令

和元年度に成田の魅力発掘調査を全庁で行い、2,612件もの情報を収集し、成田市魅力台帳として整備した。令和元年度に行った調査から5年が経過し、コロナ禍による社会情勢の変化などを経て既存の登録情報に修正を要する点が生じているため、令和6年度中に見直しを行い最新の情報に更新するとともに、全庁的に情報共有を図っていく。また、昨年度には、成田観光館に機器を設置し、スマートフォンのWi-Fi通信やGPS情報を活用して、年代、性別、居住地域などを測定し、多

くすうたけひろ 議員



様な人流分析を行った。観光需要把握のため、ビッグデータを活用したデータ分析は、効果的なマーケティング手法であることから、引き続き実施するとともに、分析結果を広報計画などに反映していきたい。

その他の質問 ▶観光振興における本市の役割は ▶観光産業の広域化に向けて

空港周辺道路の混雑改善を



かんざきとしゆき 議員



問 昭和53年5月20日に新東京国際空港として開港して以降、成田空港への一般道の進入路は、第2ゲートと第6ゲートのみである。成田空港へ続く道路網が着々と整備されつつあるが、混雑する道路について市の見解は。

答 「新しい成田空港」構想では、空港周辺道路においてピーク時に渋滞が見受けられることから、主要課題の

1つに道路アクセスを挙げており、更なる機能強化と合せて改善を図る必要があるとしている。成田空港圏自治体連絡協議会から、圏央道や北千葉道路、



混雑している空港周辺道路(取香地先)

県道成田小見川鹿島港線の早期完成を国や県に強く働きかけているが、千葉県と空港会社では、空港および周辺地域と圏央道との効率的なアクセスを確保する新たなインターチェンジの設置や周辺道路から空港へのアクセスの見直しを含めて検討していることから、引き続き空港周辺道路の渋滞改善に向け、空港会社や関係道路管理者と連携していく。

その他の質問 ▶増え続ける外国人旅行者のマナー啓発について ▶職員に対するハラスメント対策は

自転車用ヘルメットの購入費用助成について考えは



ほそがいまさやす
細貝正安 議員



問 自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことや着用率を向上させるため、購入費用を補助する市町村に対し、千葉県が助成事業を実施するとの情報を得た。自転車用ヘルメットの価格は高いため、県の助成事業を活用しない手はないと思う。令和5年9月定例会でも質問をしたが、購入費用を補助する考えは。

答 令和6年度、千葉県において市町村が実施する自転車乗車用ヘルメットの購入補助事業に要する経費に対し、補助金を交付する制度を実施することから、当該制度を利用した購入



費用の助成を予定している市町村があることは把握している。本市では、市立中学校に自転車で通学する生徒を対象に、通学用ヘルメットの購入費用の補助を行っているが、今後も自転車乗車用ヘルメットの着用促進に向けた啓発に努めるとともに、補助対象の拡大についても検討していく。

その他の質問 ▶健康寿命の延伸などの観点から、带状疱疹ワクチン接種費用の助成に対する考えは ▶障がい児通所支援事業所に従事する保育士へなりた手当相当の支給をする考えは

不登校児童生徒への支援の充実を

問 不登校の子供がいる保護者から、フリースクールへの費用と交通費が重くのしかかっており、市から支援をしていただけないかという相談を受けた。フリースクール等に通う場合、月額平均3万円から4万円の費用や入会金に加え、遠方になれば交通費が発生し、通わせたくても断念する家庭もあるようである。フリースクールを利用している家庭への支援を求めるが、市の見解は。また、市として国や県への働きかけを行っていただきたいが、制度化に向けた働きかけを行う意向は

あるのか。

答 今後、フリースクールの存在が果たす役割は大きくなると考える。しかし、自身に合った新たな居場所となると、本市にあるフリースクールの利用に限らず、他市町村のフリースクールなど、通学範囲が広がることが考えられ、義務教育という側面からも、保護者の金銭面での負担軽減につながる制度は、国や県など、より広い範囲で制度化することが望ましいと考えている。全ての児童生徒に学びを保障していくことは、重要であると認識して

こいずみひろき
小泉英樹 議員



おり、「千葉県教育予算及び人事に関する要望書」にて、フリースクールに通う児童生徒への助成などについて、要望しているところである。

その他の質問 ▶教育相談体制の充実や家庭と学校の連携強化について ▶心理的支援とメンタルヘルスケアについて ▶不登校予防のための取組について

年間発着回数50万回への増便で夜間騒音対策を



うざわ おさむ
鵜澤 治 議員



問 昭和53年の成田空港の開港から46年間、旧下総町時代から成田空港の夜間騒音対策を追いかけてきた。小泉市長は、成田空港の更なる機能強化や50万回への増便のために、現行の夜間騒音による評価指標を見直すよう環境省に要望しており、敬意を表するが、残念ながら展望は不明である。空港会社による健康影響調査は、

飛行コース下の住む小学校3年生以上の全住民を対象とし、疫学的な調査を行う必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答 健康影響調査は、コロナ禍もあり中断しているが、今後の調査は、これまでの主観的なアンケート調査のみではなく、騒音の暴露と覚醒の状況等を比較できる客観的な調査が必要であるとの議論が行われている。本市もオブザーバーとして、成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会に参加しており、対象年齢の拡大等も含め調査

が適正に実施されるよう、積極的に発言しているところである。

その他の質問 ▶成田空港の軍事利用について ▶東海第2原発再稼働について ▶食と農の危機打開について



政務活動費の各会派別収支報告

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、地方自治法に基づいて条例に定めるところにより会派(所属議員が1人の場合でも会派とみなします。)に対して交付されるものです。

成田市では、政務活動費の年額について、議会における会派の所属議員数に72万円を乗じた額を交付しています。

各会派は、毎年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額がある場合は、市に返還しています。また、各会派の収支報告一覧は、市議会ホームページで公表しています。なお、領収証等の関係書類は、8月中の公表を予定しています。

交付額一覧

4月分

会派名	人数 (人)	交付額 (円)	支出額合計 (円)	残額 (円)
政友クラブ	13	780,000	569,820	210,180
豪政会	5	300,000	550,000	0
リベラル成田	4	240,000	307,849	0
公明党	3	180,000	65,535	114,465
日本共産党	2	120,000	120,312	0
虹と緑	1	60,000	0	60,000

5月以降分

会派名	人数 (人)	交付額 (円)	支出額合計 (円)	残額 (円)
政友クラブ	17	10,680,000 ^{※1}	10,845,412	0
豪政会	4	2,640,000	2,689,441	0
公明党	3	1,980,000	695,703	1,284,297
リベラル成田	3	1,980,000	2,021,572	0
日本共産党	2	1,320,000	939,303	380,697
虹と緑	1	660,000	943,023	0
暁真世	1	0 ^{※2}	0	0

※1 人数に異動が生じたため、月割計算して算出した交付額となっています。

※2 会派より交付申請がなかったため、支給をしていません。

※年度途中で改選があったため、4月分と5月以降分で分けて算出した交付額となっています。

※交付額と支出額について、支出超過分は会派が負担しています。

5月以降分支出内訳

会派名	支出額 (円)	支出内訳(円)					
		調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	事務所費
政友クラブ	10,845,412	781,806	275,660	8,600,042	91,933	785,233	310,738
豪政会	2,689,441	504,520	0	1,652,800	211,149	320,972	0
公明党	695,703	156,982	0	408,233	23,775	106,713	0
リベラル成田	2,021,572	156,484	0	1,729,373	65,445	70,270	0
日本共産党	939,303	151,217	0	452,053	5,626	60,318	270,089
虹と緑	943,023	0	0	943,023	0	0	0
暁真世	0	0	0	0	0	0	0

※項目のうち「広聴費」「要請及び陳情活動費」「会議費」「人件費」は、全会派で支出がなかったため表に含めていません。

全国市議会議長会より表彰状

永年にわたり、市政の発展に尽力された功績により、
村嶋議員が全国市議会議長会から表彰されました。



村嶋 照等 議員
【議員在職25年】



成田市議会って何をしているの？

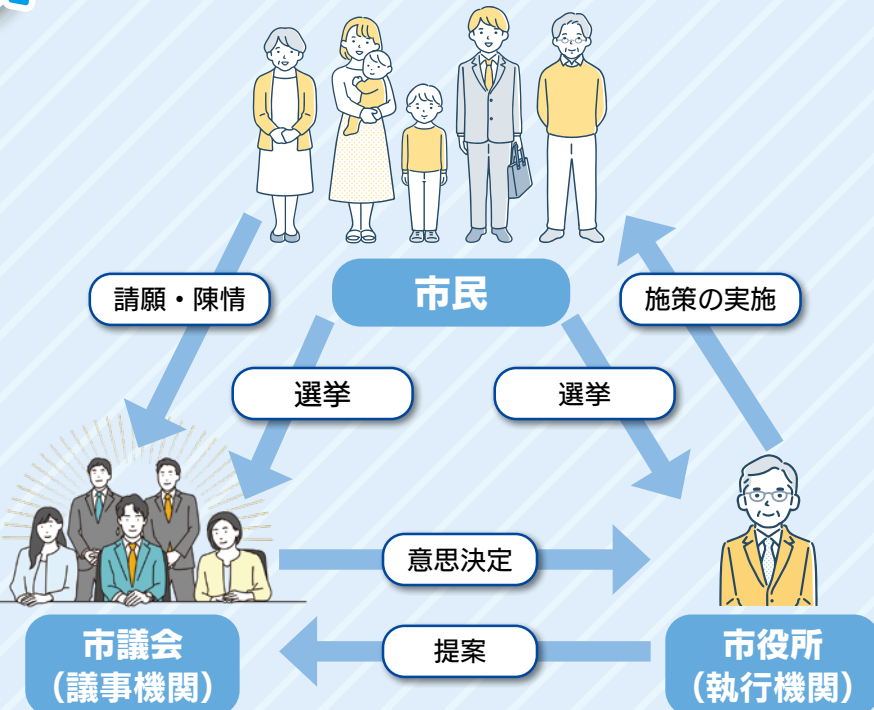
複雑でわかりにくい議会の仕組みなどを、成田市観光キャラクターのうなりくんがレポートするコーナーです。

今回は、「市議会の役割」について、うなりくんが紹介します。

市議会ってなに!?

成田市議会は、選挙で選ばれた30名の議員の集まりで、市民の皆さんがより豊かに暮らせるように、成田市に関する様々なことを話し合っている決める場です。

成田市の意思や方針を決定する市議会（議事機関）と市議会の決定に沿って施策を実施する成田市長（執行機関）は、お互いに独立・対等な立場に立って議論しています。

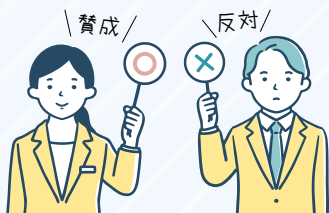


市議会の仕事ってなに!?

市議会は、市民の代表として十分な活動ができるよう、法律に基づく議決権など多くの権限を持っています。

決める（議決権）

議決とは、市の考え方を決定することで、市議会の基本的な役割です。条例の制定・改正・廃止、予算の決定や決算の認定について議決します。



要望を受ける

市民などから提出された要望を請願や陳情として受理し、請願については本会議で審議します。



意見書を出す

成田市をよりよくするために必要なことを、国や千葉県などに要望するため、市議会の考えをまとめて意見書として提出します。



チェックする（検査権・調査権）

市の仕事が市民のために正しく行われているか、税金が正しく使われているか、業務の状況を聞きチェックします。



政策立案や提言

市議会自らが条例などの発案をしたり、政策立案を行い、施策などを市に対して提言します。



市議会の進め方はどうなっているの!?

本会議



市長が提出した議案について説明し、議員が質問や意見を行います。

定例会 (年4回)	決まった時期(3月、6月、9月、12月)に開かれる本会議
臨時会	急いで決めなくてはならないことがあるときに開かれる本会議

委員会



議案や受理した請願などについて、本会議で決定する前に担当する委員会で詳しく調べたり、話し合いを行います。

担当する常任委員会

総務	教育民生
市の計画、税金、防災、消防など	福祉、健康、子育て、教育など
経済環境	建設水道
商工業、農業、環境、観光など	道路、都市計画、公園、上下水道など

本会議



委員会での話し合いの結果をもとに、その議題について賛成か反対か意見を言います。
議会としての最終的な決定をし、その結果を市長に送付します。

市役所



市長は市議会で決まったことをもとに、市民のために様々な仕事を進めます。

市議会をもっと知りたい!

会議を見る



議会中継
QRコード

本会議や委員会は傍聴することができます。また、スマートフォンやタブレットからでも視聴することができます。

議会だよりを読む



議会だより
QRコード

議会だよりを年4回発行しています。新聞折込のほか、ホームページ、スマートフォンのアプリから閲覧できます。

議場を見学する



議場



議長室

議場見学会
始めました!

幅広い世代の皆さんに市議会への理解と関心を深めていただくことを目的に、議場見学会を始めました。お気軽にお申し込みください。

開催日＝随時開催(午前9時から午後4時まで)
※会期中、各種会議開催日、土日祝を除く

対象＝市内在住、在勤、在学者を含む3名以上のグループ

申込方法＝原則2週間前までに、電話(☎0476-20-1570)または、ホームページからお申し込みください



議場見学会
QRコード



議員が案内をしてくれるよ。

対面方式とオンライン方式で

議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会実現のため、議会報告会を開催します。この報告会では、定例会などにおける議案等の審議の内容や過程の説明のほか、参加者との意見交換を予定しています。



開催日	時間	定員	会場	意見交換のテーマ
令和6年 11月12日(火)	第1部 午前10時～	各30名	対面方式 成田市役所 議会棟3階議場・委員会室	よりよい地域にするためには ～防災、地域コミュニティ、 子育てなど～
	第2部 午後6時30分～		オンライン方式 Web会議システムのZoomを使用します	

申込方法(事前申込制)

申込期間 8月1日(木)～11月11日(月)(土日祝を除く)

次のいずれかでお申し込みください。なお、当日参加も可能ですが、事前申し込みへのご協力をお願いします。

- 申込フォーム  ●TEL 0476-20-1570 ●FAX 0476-24-0336
(午前8時30分～午後5時) (記載事項：氏名(フリガナ)、電話番号、参加を希望する部)

※成田市内に在住・在勤・在学している方が参加対象です。

※託児(対面方式)・手話通訳を希望される方は、11月1日(金)までにご連絡ください。

9月
定例会

8月30日(金) 開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28	29	30 開会	31
9/1	2	3 一般 質問	4 一般 質問	5 一般 質問	6 一般 質問	7
8	9 委員会	10 委員会	11 委員会	12 委員会	13	14
15	16	17 決算 委員会	18 決算 委員会	19 決算 委員会	20	21
22	23	24	25	26 閉会	27	28

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会中継



パソコン・スマートフォン・タブレットで
本会議・委員会を視聴！
インターネットで
生中継・録画中継(本会議のみ)



成田市議会

検索



市議会だより「みんなのなりた」は、広報広聴委員会が主体となり、定例会の審議経過や結果などの掲載する内容について検討・協議し、編集しています。

若者の政治離れが問題視されている中、令和5年2月に公益財団法人日本財団により行われた18歳意識調査によると、次世代を担う46.7%の方が地方議会の役割を「知らない」と回答しています。ある先人は、「常に青年の熱と力が、時代を動かし新しい歴史をつくる」と言われています。

未来を担う若い世代にも、政治の最も身近な存在である地方議会にもっと関心を持ってほしいとの願いを込め、わかりやすい議会だよりの在り方を模索しながら、今後も日々精進してまいります。

広報広聴委員会

表紙の取材で撮影した写真の動画が見られます

スマホアプリ「COCOAR」をインストールして、本紙の表紙にかざすと、取材で撮影した写真の動画をご覧いただけます。成田市議会ホームページに掲載された議会だよりの電子ブック版および成田市公式YouTubeチャンネルからもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

COCOAR



アプリアイコン



iOS・Android対応

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760 TEL 0476-20-1570 FAX 0476-24-0336

成田市議会

検索



議会HP
QRコード

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。



*QRコードは饅頭デンソー
ウェブの登録商標です